

Chapter 6

誠実な企業で あり続けます

コスモ石油グループが考える「誠実」とは、法を守るといった型どおりのものだけではなく、人の気持ちとして理解される社会と心の通った企業活動を行うこと、そこから「信頼」を勝ち取っていくことにほかなりません。そのために、ネガティブなものを含めすべての情報を開示し、透明性の高い経営を心がけ、社員一人ひとりの自覚を促す教育と施策を徹底していきます。

企業行動指針

コスモ石油グループ企業行動指針では、経営理念実現に向けて取り組むべきテーマを整理し、各章毎に以下のような項目を掲げ、社会からの要請や使命を明示しています。



第6章 誠実な企業であり続けます

- | | |
|---|---------------------|
| 1 | 社会の一員として良識ある行動をとります |
| 2 | 会社財産を大切にします |
| 3 | 誠実な取引を行います |
| 4 | 情報を正しく取り扱います |



システムと人。その両輪で情報セキュリティの強化を進めています。

コスモ石油
情報システム部

渡邊 和也



現在のように会社業務が高度にIT化されると、情報システムを使わない部署はないといっても過言ではありません。基礎的な会社データから受発注データ、技術関連のデータ、カード会員の方の個人情報まで、ありとあらゆる膨大な情報が情報システムに蓄積されています。さらにそのデータの多くは極めて重要な情報であるため、情報セキュリティには細心の注意が欠かせません。

リスクは大きく分けて2つあり、ひとつは情報システムの脆弱性に対する攻撃で、もうひとつは、情報システムを利用する「人」の脆弱性です。近年マスコミなどでも話題になっている組織的な標的型攻撃など、攻撃手法の高度化により、リスクは日々変化しています。セキュリティ対策に終わりはなく、他社への攻撃事例や最新技

術動向などを常に情報収集しながら、対策を検討・実行しています。

また、利便性のある程度確保しつつセキュリティ対策を行う必要がありますが、利用者の意識が低い場合は、大きなリスクが顕在化します。例えば、USBメモリなどの外部記録媒体は、業務を行う上で必要なもののみ許可していますが、不用意に私物の機器（スマートフォンなど）を会社パソコンに接続してしまい、新種のウイルスに感染するなど、システム側では防げない事案も発生しています。したがって、意識啓発として、新入社員研修や企業倫理研修での教育、「情報システム利用要領ハンドブック」の作成・周知、CWP（イントラネット：企業内ネットワーク）での注意喚起、システム利用状況の調査・改善指導など今後も状況に応じ、継続的な対応を実施します。

社会から信頼を勝ち取っていくために常に自らを振り返り、現状に満足することなく人と組織の強化・改善を図っています。

「CSRに関する現状調査」と「組合員意識調査」

コスモ石油グループでは、2年ごとに実施している「CSRに関する現状調査」に加え、コスモ石油労働組合（組合員2,400名／2011年7月末現在）においても「組合員意識調査」を実施しています。「組合員意識調査」は「CSRに関する現状調査」と同様に匿名で実施され、調査票の回収・分析を外部機関に委ねており、93.6%という高い回答率となっています。

これらの調査は、コスモ石油グループ社員の満足度を社員自らが知り、高めると同時に、CSR経営に関する客観的な評価も目的にしていることから、調査結果を労使で共有しながら複数の視点で誠実に議論をしています。これにより、社員一人ひとりの仕事および会社に対する意識や企業倫理の浸透状況を確認し、CSR経営に関するリスクの低減につなげています。

2つの調査をもとにCSR経営の推進・充実、リスクの低減を実現することはもちろん、社員同士の円滑なコミュニケーション、

教育・研修の充実、コンプライアンスに関するわかりやすい情報提供などの改善策を検討・実施しています。

「組合員意識調査」で寄せられた主な意見（抜粋）

- コンプライアンスは世代交代の問題ともかかわりが深いと思う。若い人の方がコンプライアンスについて意識が強い。今のままコンプライアンスについて教育を続ければ、もっと良くなっていくと思う。（製油所 男性）
- ルール教育があまりなく、悪気なくルールを逸脱していることがあると思う。徹底的に教育する時間をつくるべきだと思う。（製油所 女性）
- コンプライアンスに関する研修をより充実させるべきだと思う。コンプライアンスは重要だと思うが、具体的に何に気を付ければいいのか知らなければ、行動のしようがない。（本社 男性）

企業倫理研修会の実施

コスモ石油グループでは、企業倫理への認識を高いレベルで維持するため、グループ社員を対象とした企業倫理研修を毎年実施しています。職務に応じた知識を取得する階層別の研修に加え、グループ会社社長が主催する関連会社ごとのテーマに沿った研修も行っています。

2011年度の企業倫理研修では、具体的事例を交えながら、「情報システムの適正利用」についてさらなる周知徹底を図り、情報セキュリティに対する社員一人ひとりの意識を高めました。また、昨年より新たに開始した技術者倫理研修では「安全管理・環境管理の不具合」をテーマに掲げ、法令遵守の再徹底を図りました。ほかにも「企業倫理相談窓口（ヘルプライン）の仕組み」

「独占禁止法および個人情報保護」「健康管理とメンタルヘルス」などの個別テーマについても啓発を実施しました。

研修の受講機会を増やしたことなどにより、2011年度の参加者数は、グループ全体で2010年度から179名増加し、延べ3,790名となりました。研修後、参加者にアンケートを実施しており、その結果は、翌年以降の研修企画などに活用していく

予定です。



コスモ松山石油（株）松山工場での研修の様子

企業倫理相談窓口（ヘルプライン）

コスモ石油グループの業務における法令および倫理上の問題を相談・通報できる窓口を社内と社外に設置しています。

社内は、企業倫理推進室内に企業倫理相談窓口を設け、社外は、外部専門家へ直接相談できる窓口を設置し、相談者の

不利益にならないよう匿名性を確保しています。2011年度はあわせて2件の相談が寄せられています。

また、人事部門内には、セクシュアルハラスメントおよびパワーハラスメントに関する相談窓口も設けています。